

令和2年度(2020年度)

管理事業名	公民館事業				総合計画の体系	大綱 4 政策 4 施策 2	子育て・学び 生涯にわたり学べるまちづくり 生涯学習環境の整備
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 05	社会教育費	(目) 03	公民館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	まなびの支援課				
予算大事業名 公民館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)北千里小学校跡地複合施設建設費 公民館事業						
事業の目的と概要 市民に地区公民館(29館及び1分館)を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう施設の維持管理を行います。 市民の自主的な学習・文化活動の支援を行うとともに、高齢化問題や防災等の現代的課題講座及び地域住民の学習ニーズに対応した主催講座を実施し、市民に学習機会を提供します。 地域文化の振興と市民の生涯学習に対する意欲の高揚、地域住民の親睦を図るため、29地区において地区公民館文化祭実行委員会が開催する地区公民館文化祭事業について補助を行います。 老朽化した公民館について、年次的に改修を実施し、安心・安全でバリアフリー対策を考慮したより良い施設づくりを推進します。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義		
施設利用者数 (主催講座除く)	人	334,131	314,213	104,931	地区公民館の貸出施設の利用者数		
主催講座参加者数	人	51,706	42,499	6,068	地区公民館主催講座事業の参加者数		
主催講座開催回数	回	1,859	1,666	433	地区公民館主催講座事業の開催回数		
文化祭来館者数	人	37,843	40,047	-	地区公民館文化祭事業来館者数		
成果の説明	施設の運営については、平成26年度から、高齢化問題や防災等の現代的課題講座に加え、専門的な知識を持った市職員を活用した講座の企画など、公民館における主催講座内容の充実に向けておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により、施設の貸館が可能な期間が延べ7か月間ほど、講座開催は延べ4か月間ほどにとどまったこと、地区公民館文化祭の開催を見合わせたこと等の影響があり、前年より講座の開催回数・参加者数、施設利用者数が大きく減少しました。引き続き、感染症対策を講じながら館を運営していくことが課題となっています。 施設の整備については、北千里小学校跡地に北千里地区公民館を含む複合施設の建設をすすめています。他の公民館についても施設の状況に応じ、各種の修繕を行うことにより、安心安全で高齢者や障がい者にやさしい生涯学習施設の整備・充実に取り組みました。						

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	55,000	55,000
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,820	2,116	1,658	△458
経常収入 小計(a)	2,820	2,116	56,658	54,542
給与関係費	96,245	96,808	109,528	12,719
物件費	143,741	176,434	197,410	20,976
維持補修費	32,331	16,226	7,097	△9,129
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	17,979	16,567	3,067	△13,500
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	59,101	68,457	68,457	△0
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,963	5,007	5,160	154
退職手当引当金繰入額	17,841	1,214	4,399	3,185
支払利息	7,091	6,713	6,117	△596
その他	-	-	0	0
経常費用 小計(b)	379,291	387,426	401,235	13,809
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△376,472	△385,309	△344,576	40,733
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△376,472	△385,309	△344,576	40,733
一般財源充当額	705,920	367,496	325,782	△41,714
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	329,448	△17,814	△18,794	△980

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出基金(経常費用充当)	北千里小学校跡地複合施設整備事業にかかる都市構造再編集集中支援事業補助金
物件費	委託料 157,809千円 需用費(修繕費を除く) 21,684千円 役務費 10,263千円 使用料及び賃借料 5,683千円
負担金・補助金・交付金等	報償費 2,086千円 負担金 981千円 新型コロナウイルス感染症の影響により報償費・補助金について合計13,500千円減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,820	2,116	56,658	54,542
行政サービス活動支出	306,195	322,118	332,862	10,744
行政サービス活動収支差額	△303,376	△320,001	△276,203	43,798
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	357,293	-	-	-
投資活動収支差額	△357,293	-	-	-
財務活動収入	180	-	-	-
財務活動支出	45,431	47,494	49,579	2,085
財務活動収支差額	△45,250	△47,494	△49,579	△2,085
収支差額 合計	△705,920	△367,496	△325,782	41,714
一般財源充当額	705,920	367,496	325,782	△41,714
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動収入:都市構造再編集集中支援事業補助金 55,000千円
----------	--------------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人当たりコスト	平成30年度	423,680人	895円	地区公民館利用者1人あたり3,614円のコストがかかっています。新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の大幅な減少により、前年に比べて2,638円増加しました。
	令和元年度	396,759人	976円	
	令和2年度	110,999人	3,614円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	54,585	54,882	296
未収金	-	-	-	地方債	28,673	28,816	143
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,007	5,160	154
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	20,906	20,906	-
事業用資産	3,471,583	3,478,875	7,292	固定負債	482,663	432,704	△49,959
有形固定資産	2,004,435	2,079,663	75,227	地方債	205,370	176,554	△28,816
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,467,147	1,399,212	△67,935	退職手当引当金	47,326	47,089	△237
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	229,967	209,061	△20,906
無形固定資産	4,037	3,846	△191	負債の部合計	537,249	487,586	△49,663
固定資産	-	-	-	純資産	2,942,871	2,999,304	56,433
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-	純資産の部合計	2,942,871	2,999,304	56,433
重要物品	4,500	4,169	△331	負債及び純資産の部合計	3,480,119	3,486,889	6,770
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,480,119	3,486,889	6,770				

Ⅲ 財務構造分析

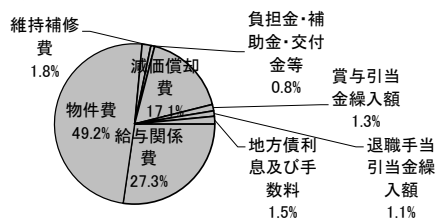
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	7.94人	6,670日	5,313日	
給与関係費等	68,851千円	31,578千円	18,657千円	合計(千円) 119,086
内、時間外勤務手当	2,496千円			

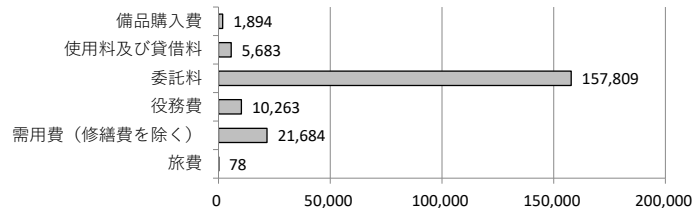
貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却費67,935千円の減
その他固定負債	千里ニュータウンプラザPFI事業で取得した公有財産の債務返済による減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹一地区公民館ほか29施設
取得年月日	昭和36年12月13日(吹一地区公民館ほか)
建物・工作物の取得価額	2,713,533 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,314,321 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	(単位:%)				
	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		1.2	0.6	0.3	△ 0.3
施設老朽化比率		43.6	46.1	48.4	2.3
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.6	99.4	85.2	△ 14.2
経常費用対公共資産比率		13.9	14.2	14.8	0.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主な内訳は、物件費197,410千円(49.2%)、給与関係費109,528千円(27.3%)、減価償却費68,457千円(17.1%)です。そのうち物件費の主な内訳は、委託料が157,809千円(79.9%)、光熱水費等の需用費が21,684千円(11.0%)です。令和2年度地区公民館全体の老朽化比率は、令和元年度に比べ2.3ポイント増えました。個々の公民館の老朽化比率の平均は63.3%(平成20年度以降に建替えを行った6地区公民館を除いた個別の老朽化比率の平均は75.1%)となり、建替や改修工事を数館実施しているものの、市保有施設全体の老朽化比率57.2%と比較して老朽化が進んでいる施設が多数を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストの49.2%を委託料や光熱水費等で構成される物件費が占めています。地区公民館の窓口受付業務、清掃業務や各種保守点検業務等、地区公民館を安全・良好な状態で維持し市民へ提供するためには、必要な経費であると考えています。また、委託料のうち35.1%を北千里小学校跡地に建設予定の複合施設にかかる実施設計委託料が占めています。新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、多人数が集まる講座が開催できなかったため、令和2年度は負担金・補助金・交付金の支出が一時的に減少しましたが、社会教育施設としての公民館の役割を果たすため、多様化する現代的な課題や社会的課題をテーマにした講座、ICTの活用に取り組むと共に、講座を企画する企画運営委員への研修や情報提供を充実させ、市民にとってより魅力的な講座が提供できるようサポートしていくために必須の費用であり、令和3年度以降は状況に応じて増加する見込みです。各公民館につきまして、老朽化に対応した移転建替や維持補修工事の実施を進め、施設の長寿命化に努めているところですが、建替や改修工事を行っていない公民館については、依然老朽化が進行しており、経年劣化が原因による修繕維持補修等に関するコストが今後も増加することが予測されますので、維持補修等にかかる経費をできるだけ標準化するために維持補修計画を立て、計画的に予算確保を行い、適切な時期に維持補修等を実施していくことが必要と考えています。